

目指すは全国優勝!

全国中学生軟式野球大会 関川中野球部から4人出場



▲左から鳥屋海さん、渡辺海斗さん
川又光流さん、船山勝輝さん

昨年の夏から、村上岩船部内の中学校野球部のレベルアップを図ろうと、各学校の顧問の先生たちが中心となって選手選考を行い、合同チームを編成しました。チーム名は「新潟NORTH」。

関川中学校野球部からは渡辺海斗さん(2年・下関)、川又光流さん(2年・鮎谷)、船山勝輝さん(2年・勝蔵)、鳥屋海さん(1年・上関)の4人が選ばれました。

チームは昨年11月、「IBABOYS第28回秋季関東中学生軟式野球大会」に出場し、新潟県代表として見事ベスト8に輝き、

3月に千葉県柏市で開催される「IBABOYS全国中学生軟式野球大会」への出場権を獲得。選手それぞれが各中学校の野球部に所属しているうえ、冬期間でグラウンドも使えない状況の中で、現在、全国大会に向けて月に3回程度の合同練習を行っています。

関東大会でレギュラーとして活躍した川又光流さんは「全国大会まで練習を頑張っ てぜひ優勝したい。大会後は、チームで学んだことを関川中野球部の後輩たちに教えたいです」と意気込みを語っていました。



内山壽介さん(大島)に 新潟県知事表彰

長年にわたり土地改良事業の推進に貢献されたとして、このたび内山壽介さんに新潟県知事から表彰状が贈られました。

内山さんは、昭和62年4月から平成23年3月まで村土地改良区理事(平成13年4月から平成23年3月までは同理事長)として改良区の運営に積極的に取り組み、特に、県営ため池等整備事業や女川左岸地区などの加入促進に尽力されました。

内山さんは「自分だけの力でなく、まわりの方々の協力があったからこそ頂けた賞だと思います。支えていただいた皆さんに感謝したい。今後も村の一産業である農業基盤の整備などに協力していきたいと思います」と受賞の喜びを語っていました。

表彰おめでとうございます。

近 ミネさん(宮前) 自治功勞表彰(高齢者表彰) おめでとうございます

このたび、村のほう賞条例に基づき、自治功勞表彰が行われ、村から表彰状と記念品料が贈られました。



「長寿の秘訣は食べ物に気を付けていること」
近さんは平成24年12月11日で、満100歳の誕生日を迎えられました。

手先が器用な近さんは、裁縫や刺繍が得意で、愛広苑の浴場入り口にある大きなのれんは近さんの手作り。のれんの他にも、以前はぞうきんなどを村内の高齢者施設へ寄付してきました。

肌も白く、髪の毛も染めたことがないというほど真っ黒で、100歳とは思えないくらい若々しい姿が印象的でした。

村の魅力を発信し
地域と都会を結びつける
仕掛人づくり

地域プロデューサー養成講座



11月30日、村民会館を会場に、今年度キラリと光る地域活性化事業に採択された「地域プロデューサー養成講座」（小山龍之介代表・大内潤）が開催されました。地域プロデューサーとは、地域の魅力を掘り起こし、その魅力を広め、人と人のつながりを通して都市と地域を結びつける仕掛人のこと。当日は、農家や民間企業に勤める会社員、森林組合員など、村内外から約20人が参加しました。講師を務めたのは、プロジ

エクトデザイナーの古田秘馬さん（東京都）。古田さんは、地域の生産者と都会の消費者の交流が続く仕掛け作りに取り組んでいて、都内で農業実践レストラン「六本木農園」や「丸の内朝大学」などを手掛けています。第2回目の開催となったこの日は、「地域の課題を出し合おう！」をテーマに進められ、参加者から様々な意見が出されました。古田さんは「自分たちの魅力に気づかないと、外部へは何も伝えることができない。

魅力に気づき、さらに人を知ることでもっと出来ることが増えるのでは」とアドバイスをおくり、受講した佐藤真智子さん（大島）は「地元の人を知り、地元のスポットなどを理解したうえで、村のことを外部に伝えていきたい。最終的には、たくさんの人に来ていただけるような素敵な村であってくれたら」と話していました。講座は全6回コースで、参加料は1回1,000円。希望される方は090-11035-4747（小山携帯）までお願いします。



話を聴くこと・・・
相手の「今」の気持ちに
気づくこと

12月19日、村民会館で「自殺予防メンタルヘルスサポーター養成研修会」が行われ、民生児童委員や健康づくり推進員など約20人が参加しました。これは、地域における自殺予防の気づき・つなぎの担い手養成を目的に開催されたもの。今年で5年目を迎えた研修会では、新潟いのちの電話の渋谷志保子さんを講師に招き「話を聴くということ」をテーマに講演が行われました。（村上地域振興局と共催）

研修会では、参加者が2人組になって「死にたい」と訴える人の会話を教材に、それぞれが当事者と聞き手役を体験。参加者からは「本当は死にたくないのでは」などの感想がありました。

参加者の感想を受けて渋谷さんは「相手の“今”の気持ちに気付くことが大事」と話していました。



このキウイフルーツ
皆さんは何に見えますか？

これは、辰田新集落の横山幸さんのお宅で、11月下旬に収穫されたキウイフルーツです。約20年にわたり自家栽培しているそうですが「こんな不思議な形のキウイフルーツを収穫したのは初めて」と横山さんもびっくり！

動物が戯れているように見えますね。皆さんは何に見えますか？